

東名厚木病院 広報誌 vol.208

とうめい

特集

消化管の検査は内視鏡が一番？

リハビリ通信

自分の足に合った靴の選び方

かけはし

本厚木駅前泌尿器科

教えて！とうめい先生

臨床検査技師は、どんな仕事をするの？

消化管の検査は内視鏡が一番？

消化器内科 松嶋 成志

1985年 東京大学医学部卒

日本内科学会認定 認定内科専門医・指導医／日本消化器病学会認定 消化器病専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医／日本消化管学会胃腸科専門医・指導医／日本ヘリコバクター学会認定 H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医

4月から入職しました消化器内科の松嶋です。これまでは東海大学で教えていました。今回、「なぜ内視鏡が大切か」というお題をいただき、学生や研修医に教えていたことを思い返しつつ説明したいと思います。

1. 消化管を調べるには どのような方法があるか？

消化管検査には形態を評価する検査と機能（動きや働き）を調べる検査があります。皆様が心配される癌などは形態で評価します。内視鏡のほか、バリウム造影、超音波、CT、MRI などがありますが、消化管については内視鏡が最も信頼される検査とされています。

2. 内視鏡検査と他の方法との差は？

内視鏡は、他の検査とどこが違うのでしょうか。日本では伝統的にバリウム造影が発達し、食道、胃の健診でもよく用いられています。学生には、内視鏡でできてバリウム造影でできないことを二つ、当てさせていました。皆様はいかがですか？

一つは色です。バリウム造影は表面の凹凸を評価し白黒で示されますが、早期癌に多い平坦な発赤病変等の描出は非常に困難です。内視鏡でも平坦病変は難しいですが、発赤を手掛かりに診断できる可能性があります。二つ目は生検です。怪しいところがあったら、組織を採取して病理検査で癌などを診断できるのです。

超音波、CT、MRI にしても同様です。さらに、超音波は空気や食物で邪魔されるので、消化管検査としては限界がありますし、CT、MRI は撮影する

瞬間のみの写真なので、収縮や内容物の影響を受け、解像度も劣るため小病変の発見能力が内視鏡に及ばないのです。

以上より、とくに早期病変の検出には内視鏡が一番なのです。

3. 内視鏡検査の欠点

これは何と言っても、苦痛でしょう。昔の胃カメラ（名の通り、先端に小さなフィルムカメラがついた管）に比べれば、はるかに柔らかく細くなりましたが、個人差はあるものの、上部では嘔吐反射や腹部膨満感、下部では痛みや膨満感があります。経鼻内視鏡もありますが、嘔吐反射は軽減されるものの鼻痛や鼻出血をきたす方もおり、万能とはいえません。年齢や全身状態によりますが、鎮静剤や鎮痛剤の併用も一法です。私たち、消化器内科医は、苦痛の少ない内視鏡手技を行えるよう、日々、努力しています。

4. 終わりに

欠点はあるものの、現時点で内視鏡に優る消化管検査はありません。苦痛軽減に努めますので、必要な際には躊躇なく内視鏡を受けていただくよう、お勧めします。

創立 45 周年を迎えて ～地域とともにつくる、みんなの広場～

総務課 溝本 佑介

当院は今年、創立 45 周年という大きな節目を迎えることができました。これまで地域医療を担い続けることができたのは、長年にわたり当院を信頼し、支えてくださった地域の皆様のおかげでもあります。患者さんやご家族、地域の皆さま、関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

45 年という歴史の中で築いてきた信頼や経験は、私たちにとって大きな財産です。そして今、私たちはこの節目を「これまでを振り返る機会」とすると同時に、「これからの地域医療をより良くしていく新たな出発点」でもあると考えています。この 45 周年記念事業の一つとして、病院の敷地内に誰もが利用できる広場をつくるプロジェクトを始動しました。



整備後のイメージ

り過ごせる場所がほしい」といったお声を頂戴していました。そこで、病院にお越しいただいた患者さんだけでなく、地域の皆さまにも自由に利用していただける「憩いの広場」を整備することで、病院のなかに人と人につながりやすい場所をつくりたいと考えました。

そして、その実現に向けて東名厚木病院は初の試みとしてクラウドファンディングを実施します。

この広場は病院と地域をつなぐ新たな交流の拠点として、長く愛される広場にしたいと考えています。広場が完成した時には、地域イベントの開催やキッチンカーの誘致、プチコンサートなどを企画し、多くの方が気軽に立ち寄れる地域交流の場として育てていきたいと考えています。



現在の中庭

きっかけは、患者さんからのご意見でした。当院は、以前より患者さんやご家族の方が気軽に休憩できる場所が少なく、「外の空気を感じながらゆっく

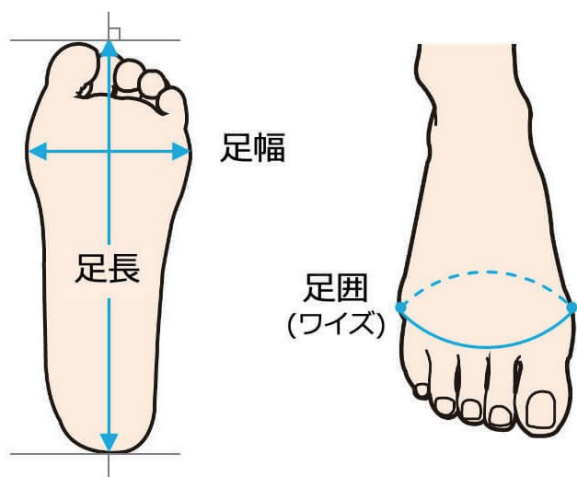
この 45 周年記念行事として、病院と地域の関係が更に深まり、次の未来へ向けて新たな一歩を踏み出す機会にしたいと思います。応援をよろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 理学療法士 橋本 健太郎

皆様、靴を購入するときには何を重視していますか？デザイン、流行り、値段、色、形、防水性等様々な基準で選ばれていることと思います。今回は自分の足に合った靴の選び方を紹介します。

まず1つめに**自分の足のサイズを知ること**です。これには足長（踵から足の一番長い指までの距離）、足幅（親指のつけねのどっぴりと小指つけねのどっぴりを結んだ距離）、足囲（足幅の出っ張り間の周径）があります。可能であれば測っておきましょう。

2つめに**靴のサイズを合わせる**ことです。靴のサイズを選ぶ時は、左右で比較して大きい足を基準に選びます。次に、履いた時に1cm～1.5cmつま先にスペースを確保できる靴を選びましょう。この理由は、歩いているときに足は靴の中で前に移動します。そのためつま先があたらないようにするためのスペースが前側に必要になります。また、甲の高さを合わせることも併せて必要です。



3つめに**靴についての知識を身につける**事です。足にとって良い靴とは、**靴の踵まわり（ヒールカウンター）が硬いこと、靴の折れ曲がる位置（ボールジョイント）が靴先で一番膨らんでいるところである**ことです。この2つを確認して選ぶと、足の負担が軽減し、疲れにくくなります。

ヒールカウンター



皆様、自分の足のサイズを知り、踵はぴったり、つま先には少しスペース、足と靴の曲がる位置が同じ靴を選んでみてはいかがでしょうか。そして快適な生活を送りましょう。



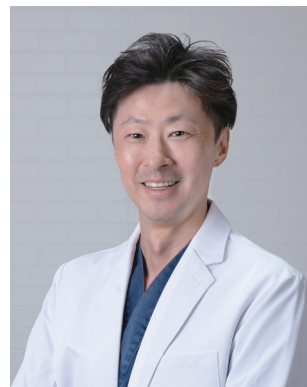


本厚木駅前泌尿器科

院長 金 伯士

[略歴]

2004年3月	東海大学医学部医学科 卒業
2004年4月～2006年3月	海老名総合病院 臨床研修医
2006年4月～2009年3月	藤枝市立総合病院 外科専修医
2009年4月～2011年3月	東海大学医学部外科学系泌尿器科学 臨床助手
2011年4月～	東海大学医学部外科学系泌尿器科学 助教
2020年4月～2023年9月	東海大学医学部附属八王子病院腎泌尿器科 講師
2023年10月～2024年8月	医療法人尽誠会山近記念総合病院 泌尿器科
2024年11月1日	本厚木駅前泌尿器科 開院



はじめまして。本厚木駅前泌尿器科院長の金 伯士（きん はくし）です。

私は東海大学を卒業後、主に大学付属病院を中心に診療に携わり、泌尿器悪性腫瘍（前立腺癌、膀胱癌、腎癌など）、尿路結石、排尿障害、尿膜管遺残症を専門分野として研鑽を積んでまいりました。大学病院では専門性の高い医療に携わる中で、多くの患者さまの診療を経験し、一人ひとりに適した医療を提供することの大切さを学んでまいりました。

泌尿器科疾患は、頻尿、排尿しづらさ、尿漏れ、血尿、繰り返す尿路感染症など、日常生活に大きく関わる症状が多い一方で、「年齢のせいだから」「受診するほどではない」と受診をためられる方も少なくありません。しかし、その背景には治療を必要とする疾患が隠れていることもあります。

本厚木駅前泌尿器科では、地域の皆さまが安心して相談できる身近な専門クリニックとして、丁寧な診察とわかりやすい説明を心がけ、早期発見・早期治療に努めています。

また、より専門的な検査や入院加療、手術が必要な患者さまについては、地域医療機関との連携を大切にしております。東名厚木病院とは緊密な連携体制を構築しており、これまでも入院加療を必要とする重症尿路感染症への対応や、泌尿器癌に対する手術治療など、多くの場面で連携いただいております。日頃より東名厚木病院には地域医療を支える重要な役割を担っていただいております。円滑な連携のもと診療を行えることを大変心強く感じております。

地域の医療機関がそれぞれの役割を担いながら連携することで、患者さまにより良い医療を提供できるものと考えております。これからも東名厚木病院との連携をさらに深めながら、地域の皆さまに信頼される泌尿器科クリニックとして、質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

泌尿器に関するお悩みがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



〈DATA〉

本厚木駅前泌尿器科

〒243-0014

厚木市旭町 1-25-1 本厚木ミハラス 2 階

TEL 046-281-8515



スマートフォンでこちらの QR コードを読み込んでいただくと、医院のホームページを見ることができます。

教えて! とうめいせんせい



地域みなさんから届いた質問・疑問に、医療のプロフェッショナルがお答えします。

Q. 臨床検査技師は、どんな仕事をするの？

0. 臨床検査の歴史

臨床検査の歴史は古く、古代ギリシャの時代には当時の医師が病気で苦しむ患者さんの「尿・便・血液・痰」のにおいや色調より病状を判断していました。日本で臨床検査が行われたのは明治時代以降、西洋医学の伝来とともに少しずつ広まりました。第二次世界大戦を経て1958年に国民皆保険制度が開始されると、多くの医療機関で臨床検査が必要となりました。時を同じくして誕生したのが「衛生検査技師」でした。1970年代になると検査が自動化され多くの検査が実施可能となりました。また業務内容が多様化したことを受け、名称が「臨床検査技師」になりました。

1. 仕事内容

臨床検査技師の仕事は前述した通り、患者さんより採取した「検体」の成分を分析する「検体検査」と、身体情報（心電図、呼吸機能、脳波、聴力、超音波検査での画像情報）などの「生理機能検査」に大別されます。さらに、採血など「検体を採取」することも重要な仕事になっています。また、多くの検査が自動分析装置を用いて行われる現代では、機器のメンテナンスや正確なデータを出せているかを

チェックする「精度管理業務」も重要な仕事となっています。

2. やりがい

医師は患者さんを診察したうえで、必要な検査の依頼を出します。私たちは採取された検体をもとに、迅速に正確なデータを報告することが役割です。で、結果的にいち早く治療が開始されることが「やりがい」になります。また、採血や生理機能検査では患者さんの目線で対応することが、検査の質を向上させる事に繋がる点は、「やりがい」になっています。さらに、医療の発展とともに新たな検査法も開発されていますので、情報を収集し、知識・技術をアップデートしていくことも「やりがい」といえます。

3. どうしたら臨床検査技師になれるの？

臨床検査技師養成の大学・短大・専門学校を卒業し、国家試験の受験資格を得て合格する必要があります。多くの方に臨床検査技師の仕事の「やりがい」を知ってもらい、興味を持っていただければ幸いです。

回答者 検査科 臨床検査技師 栗田 修

とうめいせんせいへの質問を募集！

「教えて！とうめいせんせい」では、医療に関する素朴な疑問・質問を募集しています。どんなことでも構いませんので、お送りください。質問が採用された方には、何かいいことがあるかもしれません。みなさんの質問、お待ちしております。宛先などは、裏表紙をご覧ください。

東名厚木病院 沿革

- 1981 年 東名厚木病院 開設 (60 床)
- 1982 年 100 床に増床
- 1984 年 医療法人格取得
- 1986 年 人工透析治療スタート
- 1987 年 2 号館新築 202 床へ
- 1988 年 運動療法施設認定
- 1993 年 MRI 導入
- 1994 年 新看護基準 2.5:1A
- 1995 年 ヘリカル CT・DSA 導入
- 1996 年 開放型病院認可
- 1998 年 日本医療機能評価機構認定 (県下トップ認定)
- 1999 年 特定医療法人認可、医薬分業開始
- 2001 年 3 号館新築
透析センター増床 (30 → 60 床)
- 2002 年 電子カルテシステム導入
- 2003 年 医師臨床研修指定機関認定
増床 (209 床へ)
- 2004 年 急性期特定入院加算取得、ICU 施設認定
オープン型 MRI 導入
- 2005 年 高機能マンモグラフィー導入
- 2006 年 64 列マルチスライス CT 導入
入院基本料 10:1 届出
- 2008 年 病院許可病床 267 床へ
- 2009 年 社会医療法人認可
入院基本料 7:1 届出
- 2011 年 地域医療支援病院認可
- 2015 年 卒後臨床研修評価機構 (JCEP) 認定
- 2016 年 地域包括ケア病床稼働開始
- 2017 年 4 号館新築
病院許可病床 277 床へ
リニアック導入
内視鏡センター 開設
化学療法センター 開設
緩和ケア病棟 開設
- 2018 年 病院許可病床 282 床へ
- 2020 年 神奈川県がん診療連携指定病院認定
- 2024 年 手術支援ロボット ダビンチ手術開始
脊椎手術支援機器 O-arm 術中イメージングシステム導入
- 2025 年 緩和ケア病床増床 (14 → 21 床)
病院許可病床 289 床へ



みなさんのご意見・感想など募集しています

東名厚木病院では地域のみなさんに向けて、よりよい情報提供をするため、読者のみなさんからご意見や感想を募集しています。また、「教えて！とうめい先生」の質問もお待ちしておりますので、住所・氏名・年代とそれぞれの内容をご記入の上、下記宛先までお送りください。

web フォーム

右記 QR コードを読み込んで、
フォームより入力ください。



郵送先

〒243-0034 厚木市船子 232
東名厚木病院 総務課 広報誌担当 まで

東名厚木病院広報誌「とうめい」208号

2026年7月1日発行／社会医療法人社団三思会 東名厚木病院／厚木市船子232／TEL 046-229-1771／発行者 北野 義和／編集責任者 金谷 渉／企画・編集 広報委員会



理念

地域に信頼される病院
患者に愛される病院
誇りと責任を持てる病院

社会医療法人社団三思会

〈保健〉
東名厚木メディカルサテライトクリニック
新横浜メディカルサテライト
Yangon Japan Medical Centre
〈医療〉
東名厚木病院
とうめい厚木クリニック
東名厚木病院 透析センター
愛川クリニック
とうめい綾瀬腎クリニック
さがみ緑風園診療所
とうめい宮の里クリニック
とうめい栄町クリニック
〈介護・福祉〉
介護老人保健施設 さつきの里あつぎ
介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか
複合型施設マザーホーム戸室
多機能型事業所 にじいろ
看護小規模多機能型居宅介護事業 いわしぐも
訪問看護ステーション もみじ
サービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室
訪問看護ステーション さつき
東名厚木病院 居宅介護支援センター
厚木市南毛利地域包括支援センター

無料送迎バス時刻表

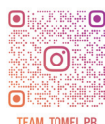


SNSにて最新情報を発信中！



LINE

@034jolmk



Instagram

@team_tomei_pr



facebook

@とうめい企画・広報室



YouTube

@三思会チャンネル